

7月 ギャラリー&県民講座

あびこ市民プラザ
 ◆第13回 写生画友会水彩画展
 日～4日(水)10時～18時(最終日17時まで)
 問鈴木☎7139-6678
 ◆大和根美術協会 第64回展
 日6日(金)～11日(水)10時～17時(初日13時～、最終日16時まで)
 問新沢☎7182-7918
 ◆第22回 あびこデッサン展
 日13日(金)～18日(水)10時～17時(初日13時～)
 問森☎7182-3965
 ◆第21回 新日美千葉支部展
 日27日(金)～31日(水)10時～17時(初日13時30分～、最終日16時まで)
 問小宮山☎090-9007-3564

図書館 1日(日)～31日(火) 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
湖北台分館
 ◆手賀沼の風景(水彩画) 相川健
布佐分館
 ◆北斎画模写 佐藤満

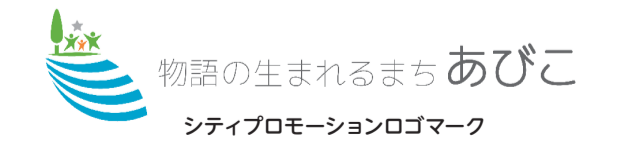
アピスタストリート 開館時間：9時～21時 休館日：30日(月)
 ◆風澤正夫水彩画作品展
 日～14日(土)(最終日17時まで)
 問風澤☎7184-7979
 ◆書道十段手描きイラストレーターゆり作品展
 日15日(日)～28日(土)(初日12時～、最終日15時まで)
 問高橋☎080-5706-0722

けやきプラザ 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
第2ギャラリー
 ◆松江剛三 水彩展
 日～1日(日)10時～15時
 問松江☎090-3537-3552
 ◆ねんどの花ルレーブ・フルール展
 日4日(水)～8日(日)11時～18時(最終日17時まで)
 問篠田☎7167-2817
第1・2ギャラリー
 ◆グレープバイン・加遊画展
 日10日(火)～15日(日)10時～17時(初日13時～最終日16時まで)
 問木村☎7139-4671
 ◆ふれあいアート展
 日25日(水)～29日(日)9時～18時(最終日17時まで)
 問けやきプラザ☎7165-2883

アピシルベ 問 ☎7100-0014
 開館時間：日～木曜日9時～18時、金・土曜日9時～19時
 ◆カヌーにふれてみよう!
 日2日(月)～9日(月)(初日13時～)
 ◆あびこラグビー day PR展
 日2日(月)～6日(金)(初日10時～、最終日17時まで)
 ◆あびこのおみやげ買えるうな
 日11日(水)～19日(木)
 ◆アピストリーム「アピスト de Night☆」LIVE放送
 日20日(金)18時～19時
 ◆WE LOVE ABIKO展/あびマルシェ(21日(土)・22日(日))同時開催
 日21日(土)～29日(日)※あびマルシェは21日(土)・22日(日)10時～16時

けやきプラザ県民講座・講習
 ◆お片づけとときめきの人生を
 日11日(水)13時30分～15時30分
 講師 迫律子さん(日本ときめき片付け協会)
 ◆シニアライフを明るく生き抜こう
 日18日(水)10時～正午
 講師 宮本厚士さん(シニアライフアドバイザー)
 ◆～笑いヨガのすずめ～笑顔には福来る
 日26日(水)10時～正午
 講師 佐藤正一さん(笑いヨガ講師)
 (共通)場所 7階研修室 定60人(要申込)

けやきプラザ県民講座・講習 問・問 電話で住所・氏名・電話番号を明示。千葉県福祉ふれあいプラザ☎7165-2886 受講料 無料 休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日火曜日)
 ※専門職対象県民研修はホームページwww.furepla.jpをご覧ください。



市制施行48年目～当時を振り返る～

我孫子市の誕生日が7月1日というのをご存じですか? 我孫子市は昭和45(1970)年7月1日に、市制施行により我孫子町から市になりました(全国565番目、県内22番目)。これを記念し、市の木に「ケヤキ」が、市の花に「ツツジ」が指定されました。まもなく50歳を迎える我孫子市は、手賀沼をはじめとした魅力的な自然に囲まれ、物語の生まれるまちとして発展してきました。これからも市民の皆さんとともに歩んでいきます。



▲庁舎完成時の写真

あびこ今昔物語

市制施行時にはオープンカーや花自動車によるパレードなどさまざまな式典が行われました。国勢調査によると、昭和45年当時は4万9240人だった人口は平成27年には13万1606人と倍以上に増えています。1面でお知らせしている手賀沼花火大会は昭和46年から開催されていた手賀沼まつりの一環として行われていました。昭和62年の「広報あびこ」によると利根川治水100年記念事業として今の手賀沼花火大会の形になったと記載されています。



▲花自動車によるパレード

問 秘書広報課・内線235

楽白樺の調べ

市民スタッフによる朗読とピアノ演奏、学芸員の軽快なトークをお楽しみください。

日時 7月22日(日)午後2時～3時 **場所** 白樺文学館1階ピアノサロン
定員 先着20人 **費用** 無料(ただし入館料がかかります)
入館料 300円(高校・大学生200円、中学生以下無料)
 問 白樺文学館☎7185-2192



▲4月の白樺の調べの様子

チバテレ朝の情報番組 シャキット! 『あびこナビ』

市では、チバテレ(千葉テレビ放送)朝の情報生番組「シャキット!」で、毎月1回市の魅力を発信しています。市のPRコーナーは「あびこナビ」。市内で開催されるイベント情報や市内にある3つの博物館の旬な情報、四季折々の市の魅力を生中継なども交えて幅広く紹介しています。ぜひご覧ください!
放送局 チバテレ(3チャンネル)
番組 シャキット!「あびこナビ」毎月第2金曜日午前6時45分～午前8時(うち6時55分～7時10分の約5分)
今月の放送 7月13日(金) 夏にぴったりな手賀沼で楽しめるヨットを紹介します。
 問 あびこの魅力発信室・内線235

続・将門伝説の地、我孫子 日秀90

あびこ散策 78

みなさん、こんにちは。今回は将門神社(日秀131の1)を出て踏切を渡り、国道356号に向かいましょう。すると左手に観音寺が見えます。ここにも将門伝説が伝わっています。
 観音寺は、もとは将門神社の境内にあった仏堂に将門の守本尊である観世音菩薩が安置されていたことがはじまりでした。元禄15(1702)年にできた『下総国相馬郡日出村観世音菩薩縁起』には、「中世、日秀(日出)弾正佐友治此庄の守護となり、深く観世音を信仰し…」とあることから、観音寺を開いたのは、日秀のいわれとなった日秀弾正と言われています。その後、寛文2(1662)年、現在の観音寺が創立され、観世音菩薩が観音寺に移りました。このことから、将門神社との繋がりがわかります。また、観音寺の境内で国道356号に向かって立っている「首曲り地蔵」も将門伝説に関係します。
 この首曲り地蔵は成田の方向に顔をそむけて立っています。実は、このお地蔵様、将門調伏のために建てられたとされる成田山新勝寺を嫌っているため首を曲げていると言われています。その他にも、『湖北村誌』によると、この地域では、将門を裏切った桔梗御前の影響から、桔梗の花を植えないばかりか、子どもは花を触る時に桔梗でないか大人に確認してから触ったそうです。そう考えると、伝説はとても身近にあるものですね。



▲首曲り地蔵